

2022年3月期 第2四半期 決算説明資料

第98期：第2四半期累計期間
(2021年4月1日～2021年9月30日)

2021年10月27日

太平洋工業株式会社

1. 第2四半期業績
2. 2021年度通期予想
3. 新工場の建設

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

感染防止・雇用・生産体制維持を第一義にGLOCALに足元固め

■ 経営環境の変化

- ・コロナ感染拡大（第5波）
- ・半導体供給不足、部品供給不足による生産変動
- ・原材料の高騰

■ コロナ禍での取り組み

- ・改善、原価低減、固定費削減
- ・雇用調整助成金の活用
- ・従業員の教育
- ・社員と家族の感染防止
- ・サプライチェーンの維持

■ 今後の課題

- ・コロナ影響の長期化、第6波への備え
- ・半導体・部品の供給懸念、中国電力不足影響
- ・生産変動、挽回生産に向けた体制準備

1-2 2Q 連結業績



前年度のコロナ禍での業績からは回復。9月の顧客減産により、予想には届かず

(億円、%)

	2020年度 2 Q累計実績	2021年度		前年同期比		予想比	
		2 Q累計予想	2 Q累計実績	増減	増減率	増減	増減率
売上高	648	830	784	+135	+21.0	△45	△5.5
営業利益	8	65	過去最高 50	+41	+482.6	△14	△22.7
営業利益率	1.3%	7.8%	6.4%	+5.1P	-	△1.4P	-
経常利益	13	70	過去最高 57	+44	+341.4	△12	△17.2
経常利益率	2.0%	8.4%	7.4%	+5.4P	-	△1.0P	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	9	50	過去最高 43	+34	+364.9	△6	△12.4
四半期純利益率	1.5%	6.0%	5.6%	+4.1P	-	△0.4P	-
平均為替レート (米ドル)	106.4円	110.2円	109.9円	+3.5円	-	△0.3円	-

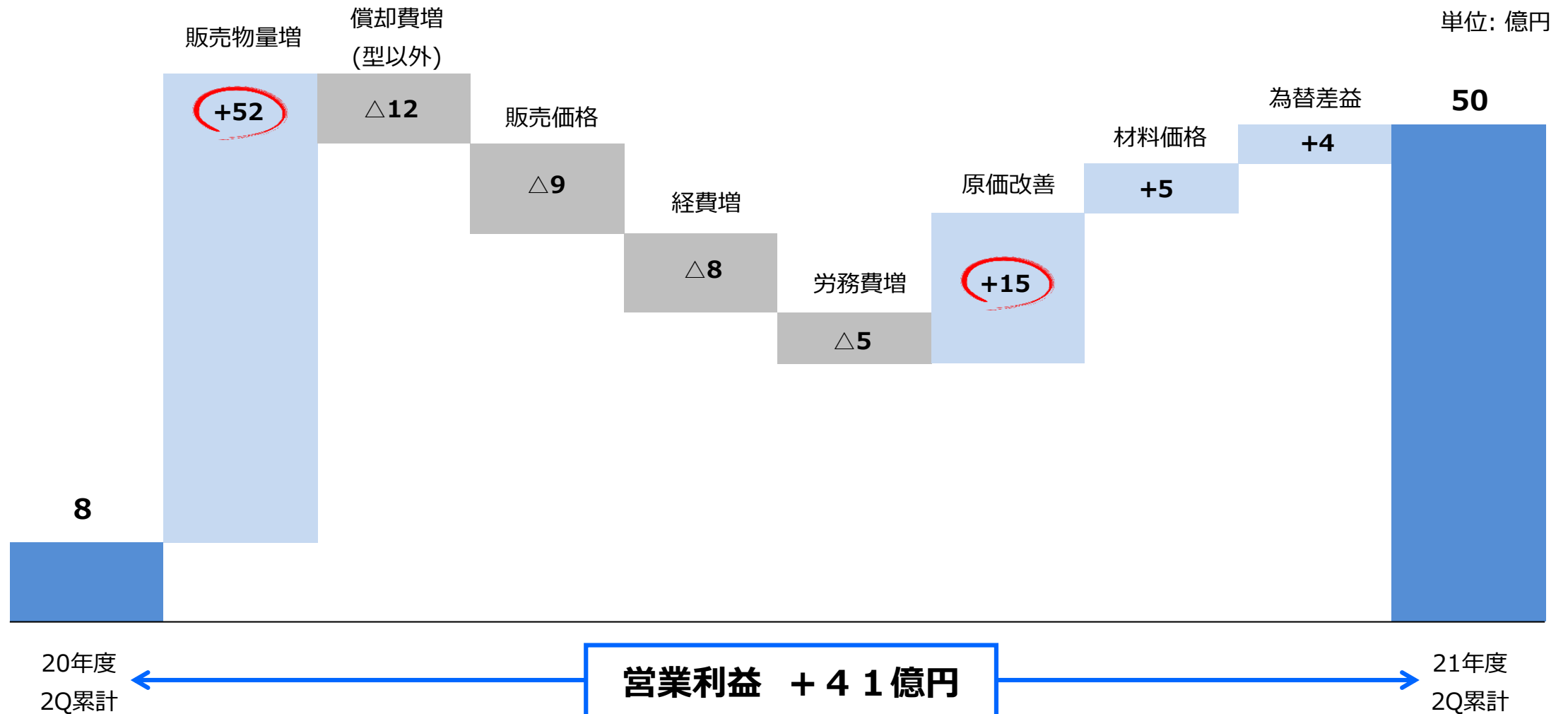
※2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額は以下の通りです。利益への影響は軽微です。

売上高は、金型費用回収の一括認識により8億円増加、客先受給品の売上高と売上原価の相殺表示により22億円減少しております。

1-3 2Q 連結営業利益 増減要因



販売回復と原価改善により、過去最高益を達成



1-4 2Q 連結事業別セグメント



プレス・樹脂、バルブともに増収増益の黒字

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	20/2Q 累計実績	21/2Q 累計実績	増減	前年同期比 増減率	20/2Q 累計実績	21/2Q 累計実績	増減	前年同期比 増減率
プレス・樹脂	457	532	+75	+16.5	△2	16	+19	-
(収益認識適用の影響)		(△14)						
営業利益率					△0.5%	3.1%	+3.6P	
バルブ	190	250	+60	+31.5	10	33	+22	+212.2
(収益認識適用の影響)		(0)						
営業利益率					5.7%	13.5%	+7.8P	

※2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額(内数)は上記の通りです。利益への影響は軽微です。

1-5 2Q 連結地域別セグメント



日本、欧米、アジアともに増収増益の黒字

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	20/2Q 累計実績	21/2Q 累計実績	前年同期比		20/2Q 累計実績	21/2Q 累計実績	前年同期比	
			増減	増減率			増減	増減率
日本	306	334	+27	+9.1	5	31	+25	+473.9
(収益認識適用の影響)		(△13)						
営業利益率					1.8%	9.3%	+7.5P	
欧米	224	297	+72	+32.4	△3	5	+8	-
営業利益率					△1.6%	1.8%	+3.4P	
アジア	116	151	+35	+30.0	5	13	+8	+158.7
営業利益率					4.3%	8.6%	+4.3P	

※2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額(内数)は上記の通りです。利益への影響は軽微です。

1. 第1四半期業績
- 2. 2021年度通期予想**
3. 新工場の建設

2-1 通期 連結業績予想



2Q累計実績を踏まえ、最新情報を下期予測に織り込み、通期予想を見直し

(億円、%)

	2020年度	2021年度		前期比		前回予想比	
	実績	前回予想	今回予想	増減	増減率	増減	増減率
売上高	1,504	1,640	1,640	+135	9.0%	+0	0.0%
営業利益	89	125	105	+15	17.0%	△20	△16.0%
営業利益率	6.0%	7.6%	6.4%	+0.4P	-	△1.2P	-
経常利益	112	140	125	+12	11.4%	△15	△10.7%
当期純利益	79	100	90	+10	12.8%	△10	△10.0%
ROE	7.6%	8.5%	7.7%	+0.1P	-	△0.8P	-
ROA(営業利益ベース)	4.2%	5.4%	4.6%	+0.4P	-	△0.8P	-
一株当り純資産	1,846円	2,021円	2,018円	172円	9.3%	△3円	△0.1%
平均為替レート(米ドル)	105.4円	107.5円	110.0円	4.6円	-	2.5円	-

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益です。

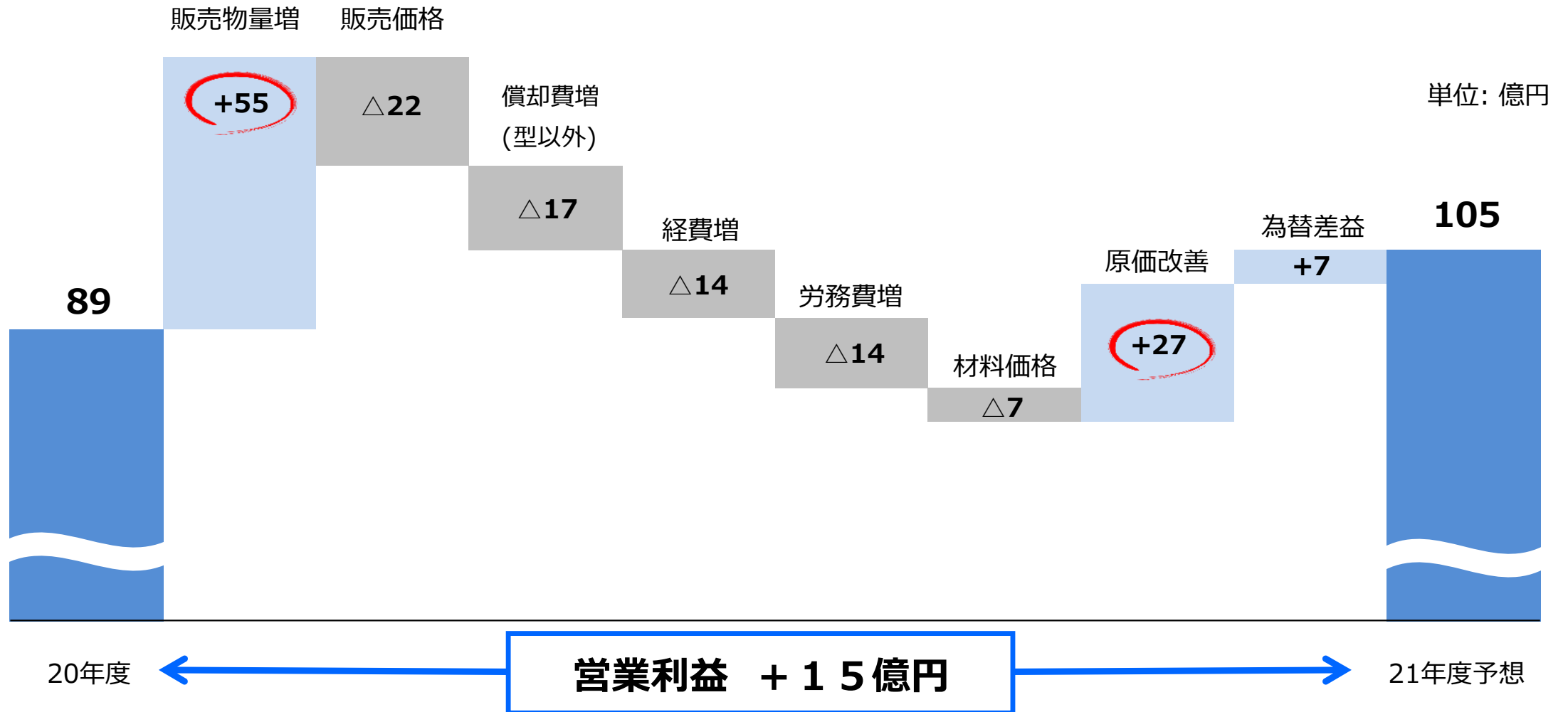
※2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額は以下の通りです。利益への影響は軽微です。

売上高は、金型費用回収の一括認識により7億円増加、客先受給品の売上高と売上原価の相殺表示により49億円減少を見込みます。

2-2 通期 連結営業利益 増減要因



販売は回復を想定。継続的な原価改善で増益を見込む



2-3 通期 連結事業別セグメント



プレス・樹脂、バルブともに増収増益を見込む

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	20年度 実績	21年度 予想	前期比		20年度 実績	21年度 予想	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
プレス・樹脂	1,045	1,136	+90	+8.7	39	42	+2	+7.4
(収益認識適用の影響)		(△42)						
営業利益率					3.7%	3.7%	+0.0P	
バルブ	457	501	+43	+9.6	49	63	+13	+26.0
(収益認識適用の影響)		(0)						
営業利益率					10.9%	12.6%	+1.7P	

※2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額(内数)は上記の通りです。利益への影響は軽微です。

2-4 通期 連結地域別セグメント



日本、欧米、アジアいずれも増収増益を見込む

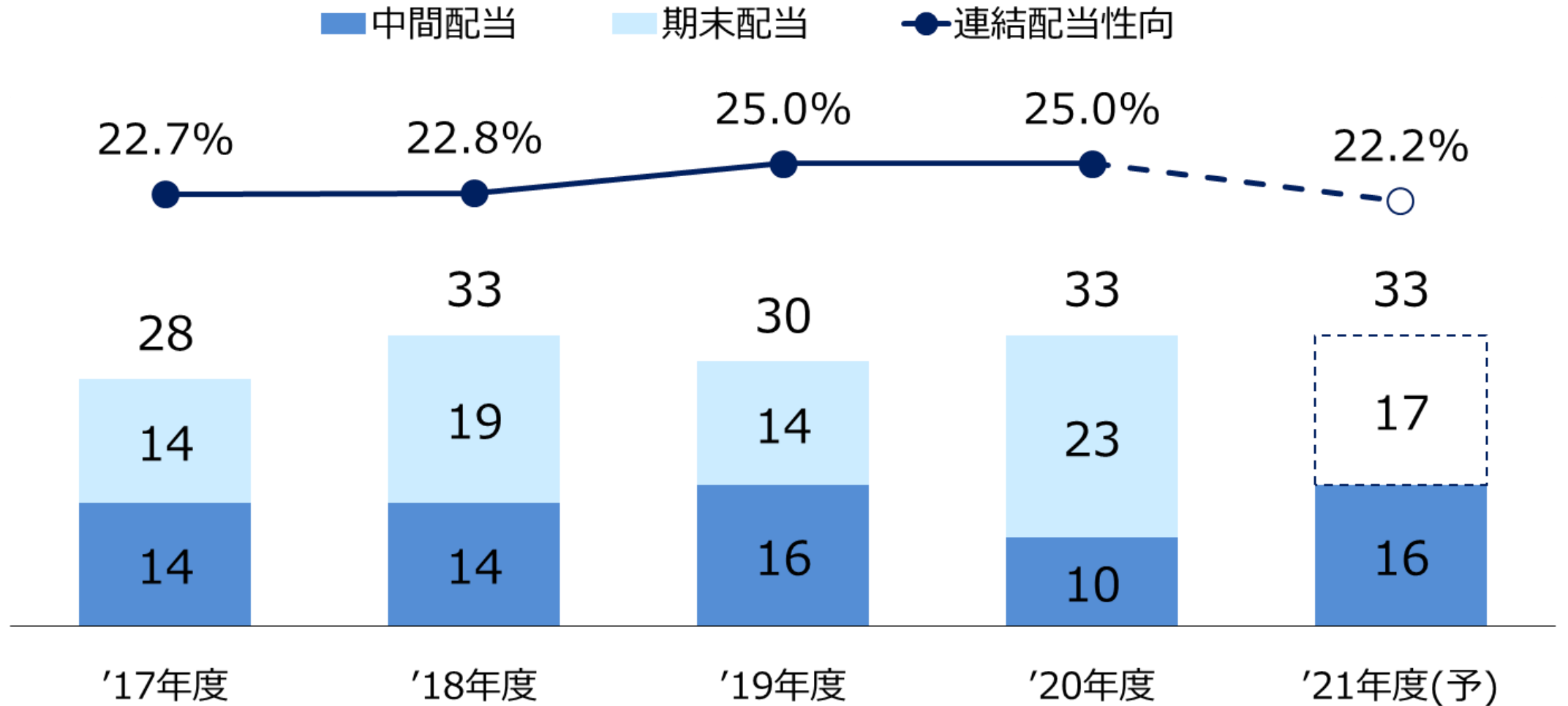
(億円、%)

	売上高				営業利益			
	20年度 実績	21年度 予想	前期比		20年度 実績	21年度 予想	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
日本	702	718	+15	+2.2	51	63	+11	+21.7
(収益認識適用の影響)		(△42)						
営業利益率					7.4%	8.8%	+1.4P	
欧米	523	595	+71	+13.7	15	17	+1	+8.5
営業利益率					3.0%	2.9%	△0.1P	
アジア	277	327	+49	+17.7	18	24	+5	+26.3
営業利益率					6.8%	7.3%	+0.5P	

※2021年度より収益認識会計基準を適用しております。売上高への影響金額(内数)は上記の通りです。利益への影響は軽微です。

2-5 株主還元

中間配当は予想通り16円。期末配当は17円を予想。



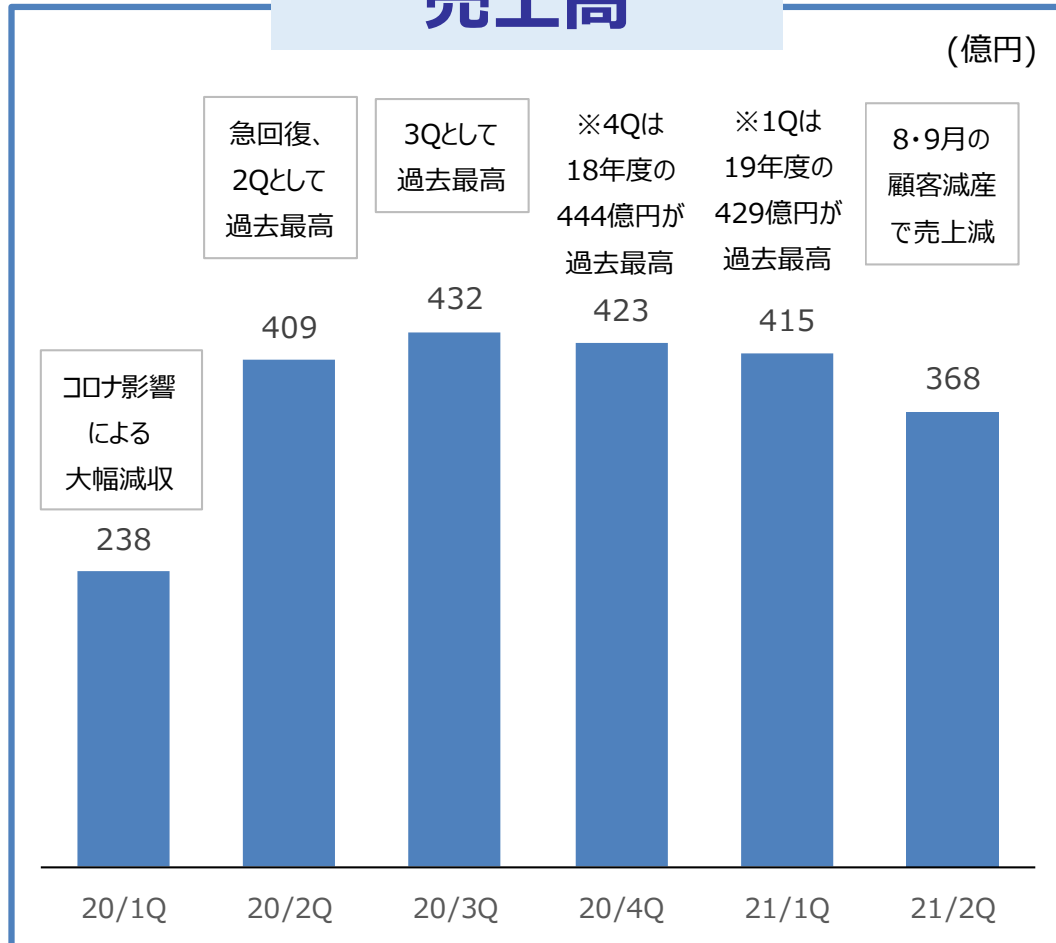
2-6 四半期別 連結業績推移



減産影響により、21年度第2四半期は売上・利益減

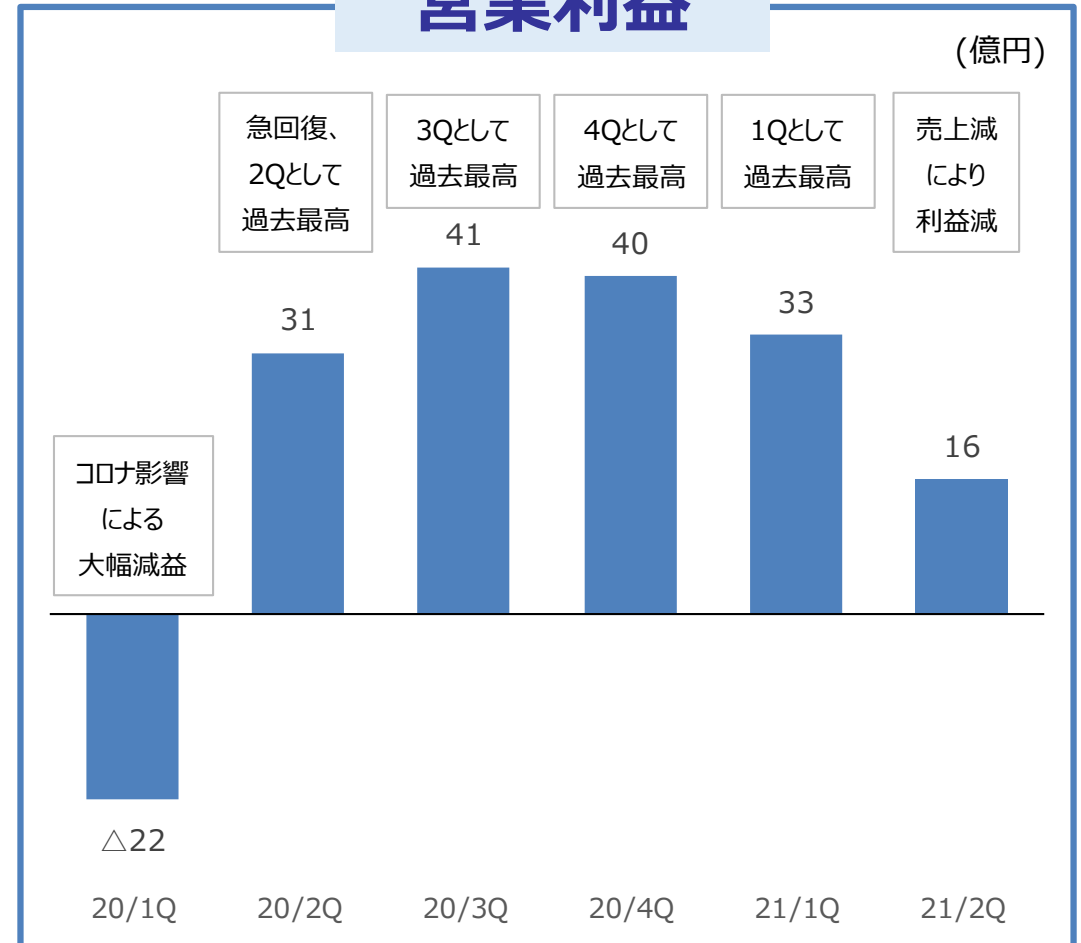
売上高

(億円)



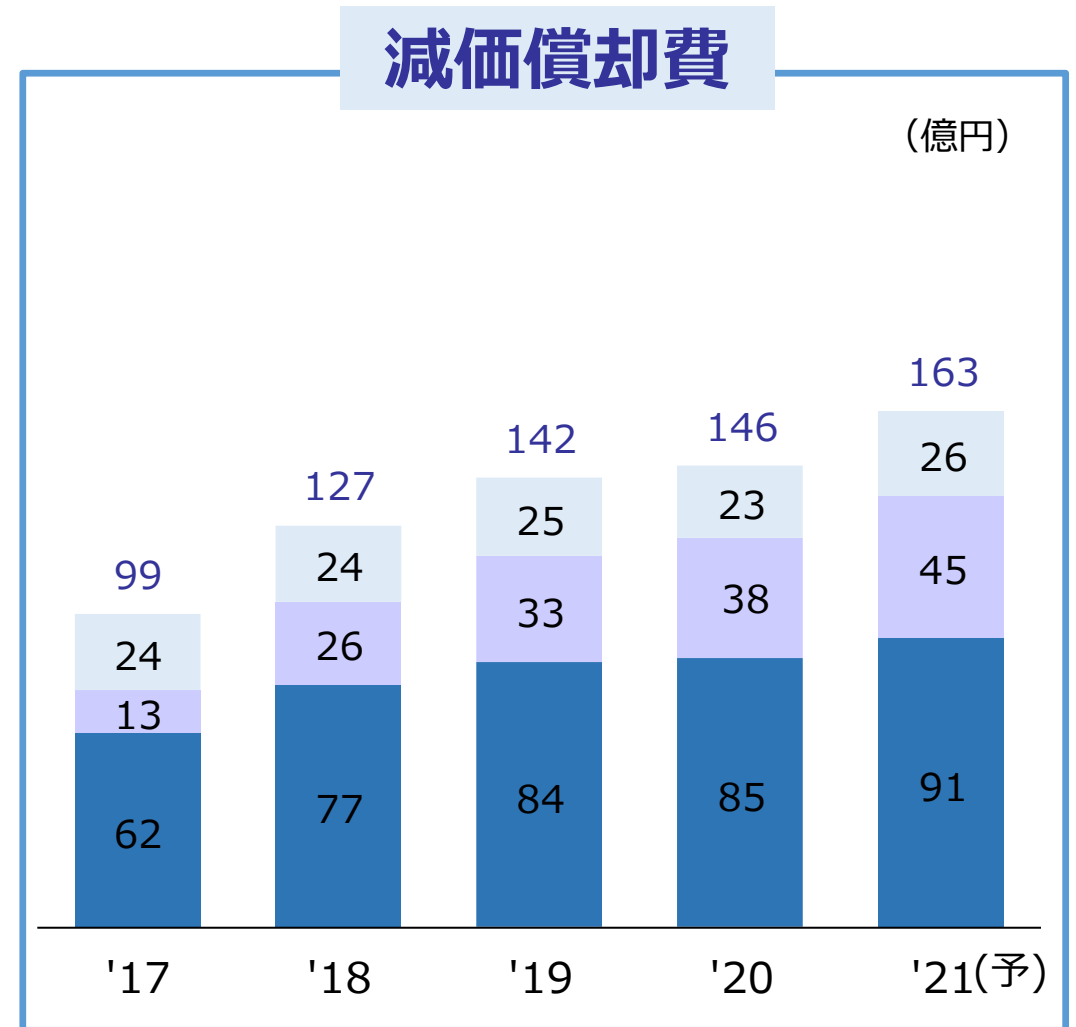
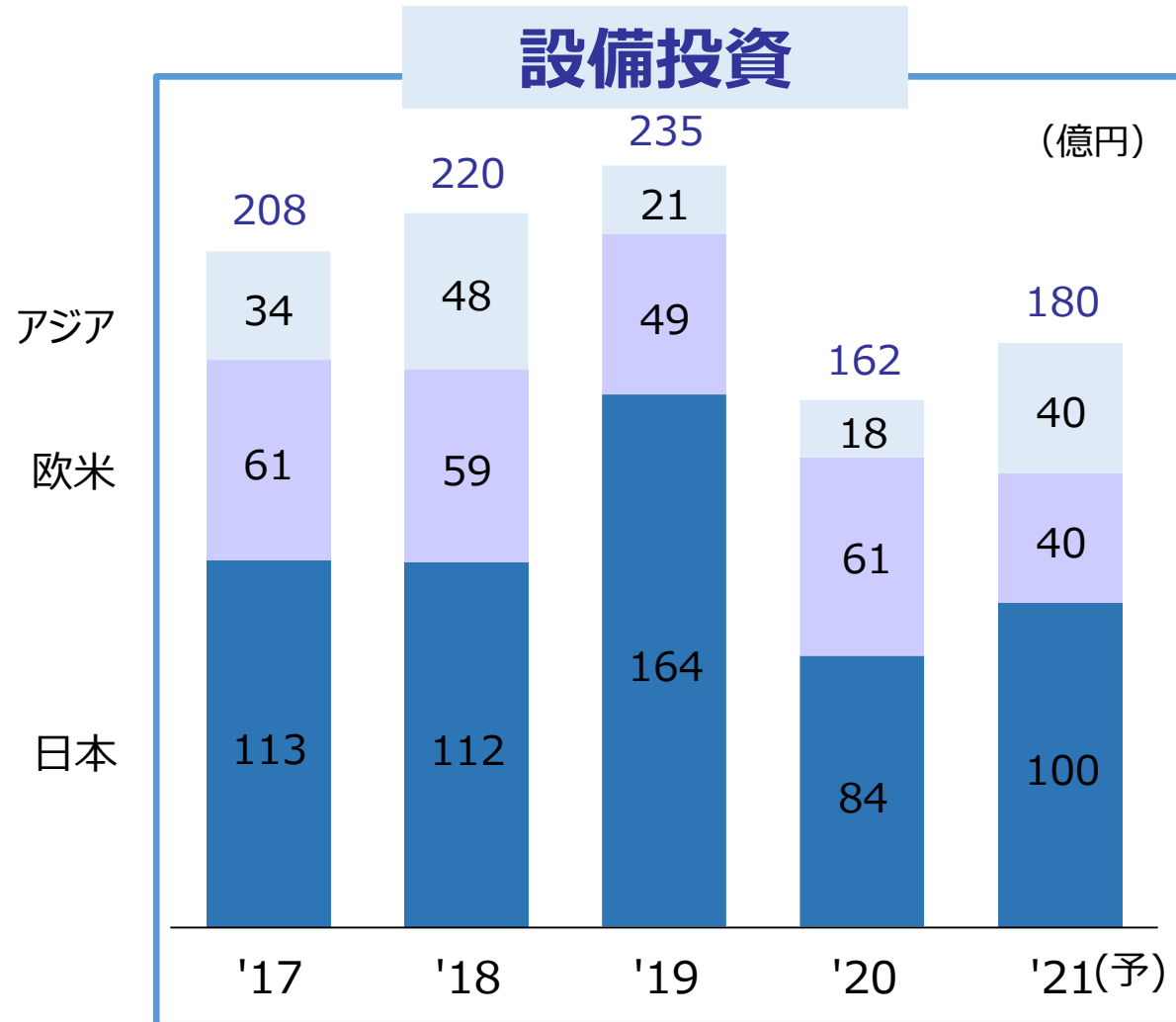
営業利益

(億円)



2-7 連結設備投資・減価償却費

設備投資は効果の大きなもの・早く出るものを優先して実施



1. 第1四半期業績
2. 2021年度通期予想
- 3. 新工場の建設**

3-1 東大垣工場に新工場を建設

カーボンニュートラルを見据えたグローバルマザー工場を確立、中長期でコスト競争力を強化

電動車向け・超ハイテンプレス加工製品を増産 カーボンニュートラルに向けた施策を織り込む

- ・ものづくりの効率を追求した工場
- ・従業員がいきいきと働くことのできる工場

所在地 : 岐阜県大垣市

生産品目 : 自動車用プレス製品

敷地面積 : 約80,000m²

延床面積 : 約43,000m² (プレス・溶接工場)

投資金額 : 約130億円

工事着工 : 2021年11月

稼働開始 : 2023年 年央



新工場外観イメージ

従来工場比50%の CO2削減をめざす

- ・工場建物仕様
- ・工場原動力
- ・高効率設備
- ・物流システム
- ・再生可能エネルギー



思いをこめて、あしたをつくる

Passion in Creating Tomorrow